

# 5904-0341 高精度クラブレングスルーラー 取扱説明書

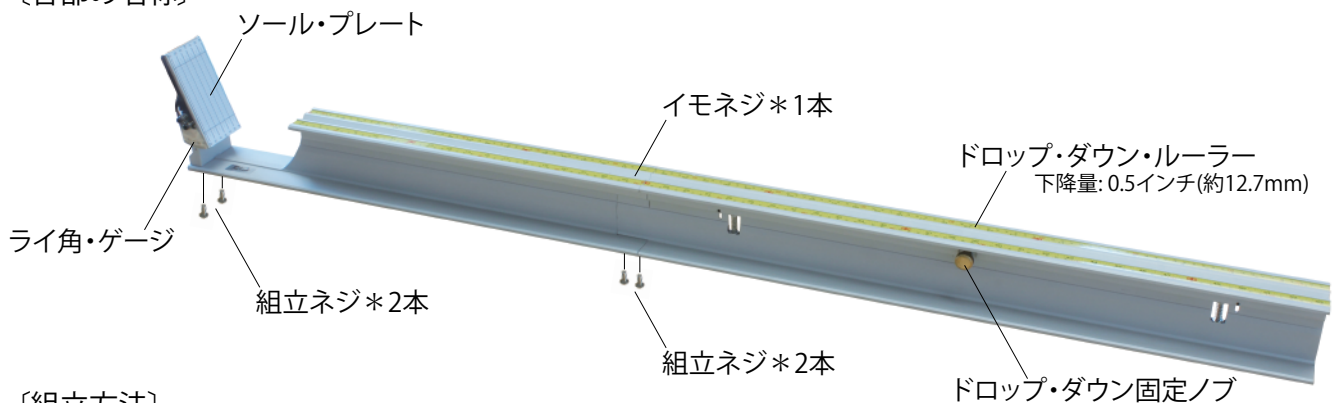


## 60 度法のその先の精度を求めるプロフェッショナル・ユーザーに

ゴルフ規則においてウッドとアイアンクラブのレングスを規定する 60 度法は、長尺クラブの規制と言う目的の元に規定されているため、ヘッドのヒール側オフセット、グリップエンドの最大外径と言った、誤差要因の影響を排除できず、基準線に対してシャフト軸線が傾いた状態で計測している場合があります。本機器では、シャフト軸線を基準として、ホーゼルの位置やヒールオフセット、パターのヘッド形状、グリップ太さ等の誤差要因を極力排除することで、より精度の高い計測、クラブ間のレングス比較が可能です。なお、本機器でソールプレートを 60 度に設定して計測したレングスと、シャフト軸線からのヒールオフセットの数値を用いて、60 度法のレングスを算出することも出来ます。

パターで用いられるアキュレート・メソッドをベースに、シャフト軸線の延長線と、角度が変化するソールプレートとの交点を測定基点に採用しています。また、ヘッド周辺が大きく切り取られた形状のため、センターインや、ベンドシャフトを装着したパターも容易に計測可能です。

### 〔各部の名称〕



### 〔組立方法〕

上記の図を参考に、組立ネジ\*計 4 本、イモネジ\*1 本を使用して、本体を組み立てて下さい。お手数ですが、組立ネジの締め付けには、プラス・ドライバーをご用意下さい。イモネジは、付属の六角レンチで締め付けて下さい。なお、各ネジは、各取り付け部位に仮止めされていますので、一旦、取り外して再度組み付けて下さい。

### 〔計測時の各基点について〕

本機器の計測方法は、パターに適用されるアキュレートメソッドをベースとしています。現行のゴルフ規則では、パターにおいては、グリップエンド端（上端の膨らみを含む）から、シャフト軸線（またはその延長線）とソール面との交点までをクラブレングスとします。計測にあたっては、ヘッド側とグリップエンド側、それぞれの測定基点について、計測条件を統制して下さい。

ウッド、アイアン等のクラブを計測する場合、主に以下の 3 つの基点が考えられます。

ヘッド側 A. シャフト軸線の延長とヘッドの 60 度ライ角面が交わる箇所を基点とする。

（ゴルフ規則の 60 度法とは基準線が異なります。図 1 参照）

ヘッド側 B. シャフト軸線の延長とヘッドのライ角面が交わる箇所を基点とする。（図 2 参照）

ヘッド側 C. シャフト軸線の延長とソール面が交わる箇所をフェイス面からの投影で基点とする。（図 2 参照）

### 〔図1〕



【図2】



※ヘッド側 B 基点を採用する場合、ヘッドのライ角を利用するため、事前にライ角を計測しておき、ソール・プレートのライ角を調整するか、フェイス面の中心線を決定しておき、ソール・プレートが中心線下部でソールに接触するよう、ライ角を調整する(= 簡易的にライ角を計測する)必要があります。殆どのクラブ・メーカーはライ角規格を公開していますが、ライ角の決定方法はメーカー毎に異なるため、厳密に計測条件を統制しようとすると、誤差要因となる場合があります。

※ヘッド側 C 基点を採用する場合、フェイス側から見て、ソール・プレートがシャフト軸線(= 高精度クラブフittingsルーラーの基準線)の延長線上でソールに接触するように、プレートのライ角を調整します。ソールに凹みがあったとしても、フェイス側からの投影で最も突出している部分で接触するように当てて下さい。

グリップエンド側では、主に以下の2つの基点が考えられます。(図3参照)

グリップエンド側 A. グリップ上端を基点とする。

グリップエンド側 B. グリップエンドの最も外径の大きな箇所を基点とする。

【図3】



### 〔計測手順〕

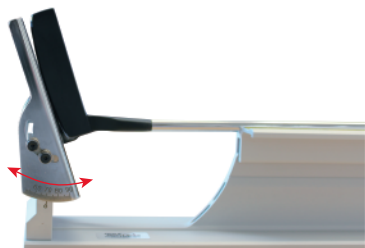
ヘッド側、グリップエンド側の基点を決定した上で ...

1. ソール・プレート上の目盛を基準に、フェイスがスクエアになるように、ヘッドの向きを調整して下さい。(図4参照)
2. また、フェイス側からヘッドとソール・プレートの接触を確認し、採用するヘッド側基点に沿うように、プレートのライ角を調整します。(図5参照)
3. グリップ装着済みのクラブの場合は、グリップの太さに合わせて、ドロップ・ダウン・ルーラーの高さを調整します。固定ノブを使用して、特定の位置で固定することも可能です。最大下降量は、およそ0.5インチ(12.7mm)になります。
4. 採用するグリップエンド側基点に従って、ルーラーを読み取って下さい。図6では、グリップエンド側A基点を例に図示しています。

【図4】



【図5】



【図6】

